

Kansai Economic Insight Monthly

2016/12/27

Vol.44 November/December

・ APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・ レポート公開時期は毎月第 4 週火曜日を予定しています。

・ 執筆者は、稲田義久(甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長)、林万平・木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh Nguyet (各 APIR 研究員) 及び豊原法彦(関西学院大学教授)です。

・ 本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・ 本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の 2 府 4 県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要旨	1
関西経済のトレンドと CI, CLI	2
景気の現況	3
関空モニター	9
中国景気モニター	9
主要月次統計	13
Release Calendar	14

要旨

- 足下景気は減速傾向。先行き改善も持続性に力強さを欠く※ -

- ✓ 10月の鉱工業生産指数は前月比3カ月ぶりのマイナス。ただし、10月実績を7-9月平均と比較すれば+1.2%の伸びとなっており、回復の兆しがみられる。
- ✓ アジア向け輸出の回復により、11月の輸出は14カ月ぶりの前年比プラス。輸入は15カ月連続の同マイナス。結果、貿易収支は10カ月連続の黒字となった。
- ✓ 11月の消費者態度指数は構成4指標が全てマイナス、2カ月連続の悪化。一方、景気ウォッチャー現状判断DIは2カ月連続の改善。今冬は低気温が続くとの予想から、冬物商材の売上増への期待は高く、先行き見通しは2カ月ぶりに改善した。
- ✓ 8月の関西2府4県の現金給与総額は2カ月連続の低下。9月の「関西コア」賃金指数も3カ月連続の低下。賃金は減少が続いている。
- ✓ 10月の大型小売店の販売額は3カ月連続の前年比マイナス。スーパーは好調であったが、百貨店は婦人服を中心に衣料品の販売が不振であったため、引き続き減速が続いている。
- ✓ 関西10月の新設住宅着工戸数は前年同月比3カ月連続の減少。利用関係別にみると、貸家、分譲を中心に低迷が続いている。
- ✓ 11月の有効求人倍率は3カ月連続の小幅上昇。新規求人倍率も2カ月ぶりの上昇。完全失業率は3カ月ぶりに小幅悪化したものの、雇用情勢は好調が続く。
- ✓ 11月の公共工事請負金額は2カ月連続の前年比マイナス、季節調整値は4カ月連続の前月比マイナス。全国の拡大ペースは一時的に停滞しており、関西は減速が続いている。
- ✓ 11月の関空への訪日外客数は前年比+9.1%と46カ月連続のプラスで依然高水準を維持しているものの、伸びは減速傾向である。注目すべきは10月の中国からの外客数が2カ月のマイナスとなったことである。
- ✓ 中国11月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は2カ月連続の改善。10月のリコノミクス指数(APIR試算)は9カ月連続のプラスとなり、先行き改善の兆しが見られる。

※景気の基調判断はAPIR(豊原法彦リサーチリーダー)開発の関西景気動向指数(CI, CLI)に基づいている。
関西全体のCI, 試作CLIの推移は2ページを参照。

【関西経済のトレンド】

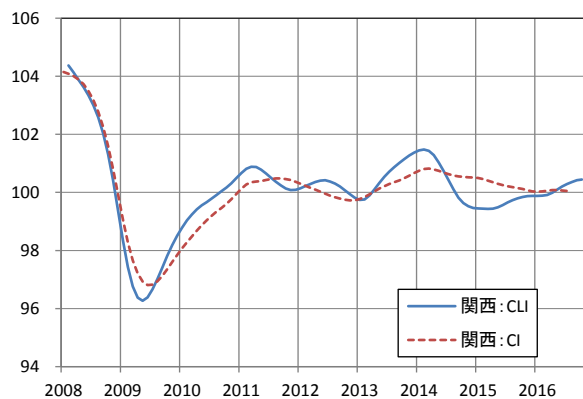
	2015年		2016年										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
生産	↓	↓	↑	↓	↑	↓	↓	↓	↓	↑	↑	↓	
貿易	→	↑	→	↑	↑	↑	→	↑	↑	→	→	↑	↑
センチメント	↓	↑	↓	↓	↓	↑	→	↓	↑	↓	↓	↑	↑
消費	→	→	↑	↑	→	→	↓	↓	→	↓	↓	↓	
住宅	→	↓	↑	↑	↑	↑	→	↓	↑	↓	→	→	
雇用	↑	↑	→	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↑
公共工事	→	→	↓	↑	↑	↑	→	↓	↑	↑	↑	↓	↓
中国	→	↓	↓	↓	→	→	→	→	→	→	→	→	↑

(*トレンドの判断基準)

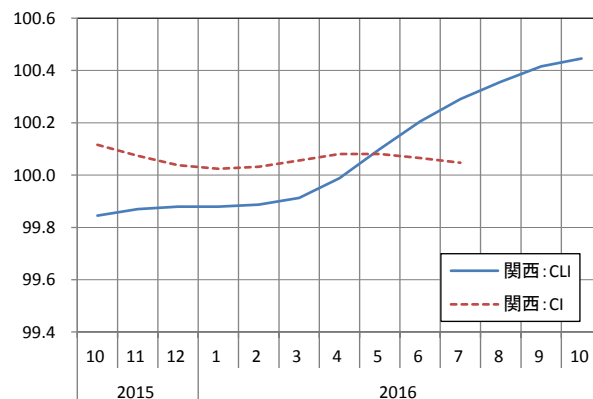
- ・ **生産**: 近畿経済産業局『近畿地域域工業生産動向』生産指数(季節調整値)が前月比+0.5%以上であれば上向き、同-0.5%未満であれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **貿易**: 大阪税関『貿易統計』の近畿圏貿易収支(入出超額)前年同月から 500 億円以上の改善は上向き、同 500 億円以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **センチメント**: 内閣府『景気ウォッチャー調査』の近畿現状判断(方向性)DIが前月比で 1 ポイント以上の改善は上向き、1 ポイント以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **消費**: 近畿経済産業局『大型小売店販売状況』(全店ベース)が前年同月比で 1%以上増加していれば上向き、同 1%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **住宅**: 国土交通省『住宅着工統計』新設住宅着工戸数が前年同月比で 5%以上増加していれば上向き、同 5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **雇用**: 厚生労働省『一般職業紹介状況』有効求人倍率(季節調整値)が前月比で 0.01 ポイント以上の改善は上向き、変化がなければ横ばい、0.01 ポイント以上の悪化は下向きとする。
- ・ **公共工事**: 西日本建設業保証株式会社『公共工事前払金保証統計』公共工事請負金額が前年同月比で 5%以上増加していれば上向き、同 5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。

【関西の景気動向指数(CI 一致指数・試作 CLI)の推移】

CI 一致指数・試作 CLI の推移(2008 年 1 月～2016 年 10 月まで)



直近 1 年間の推移(2015 年 10 月～2016 年 10 月まで)



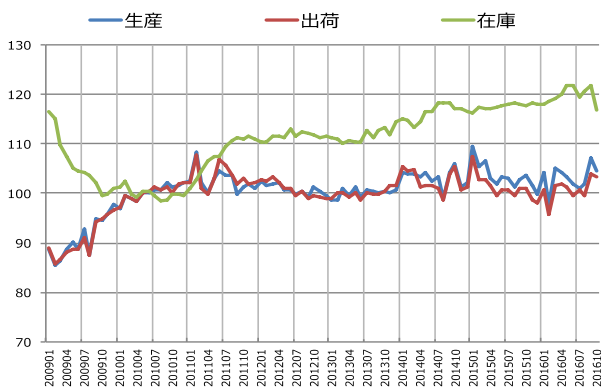
【鉱工業生産動向】

(1) 関西の生産動向

2016年10月の鉱工業指数(確報値:季節調整済, 2010年=100)を見ると、生産は104.5で前月比-2.3%と3カ月ぶりの下落。出荷は103.5で同-0.7%と2カ月ぶりの下落。在庫は116.8で同-4.3%と3カ月ぶりの減少。ただし、10月実績(生産)を7-9月平均と比較すれば+1.2%の伸びとなっており、回復の兆しがみられる。生産と強い関係がある10月近畿の実質輸出は前月比+0.5%と小幅ながら2カ月ぶりに増加した。

業種別に生産指数をみると、はん用・生産用・業務用機械(前月比-10.0%、2カ月ぶり)、輸送機械(同-4.2%、2カ月ぶり)、電気機械(同-3.1%、2カ月連続)等が減産となった。一方、化学(同+2.4%、2カ月ぶり)、窯業・土石製品(同+4.0%、2カ月連続)、プラスチック製品(同+3.6%、2カ月ぶり)等が増産となった。

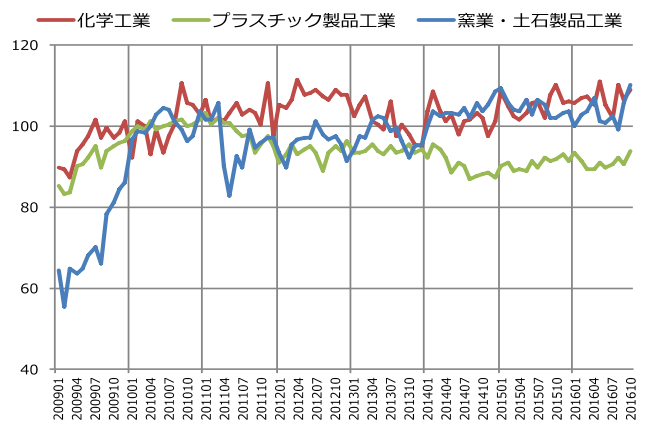
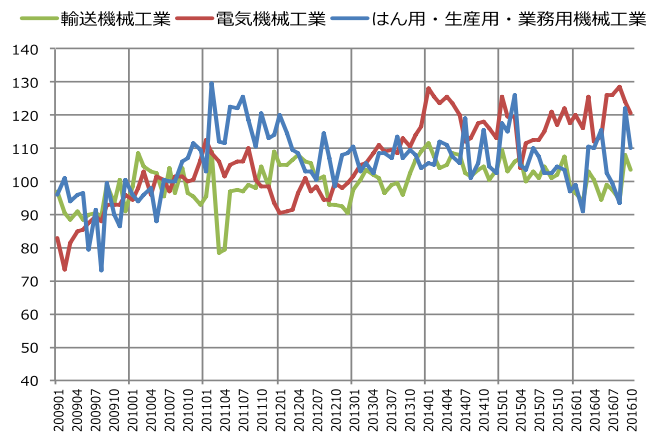
鉱工業指数の推移(関西:2016年10月まで、2010年=100)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

業種別生産指数の推移(関西:2016年10月まで、2010年=100)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

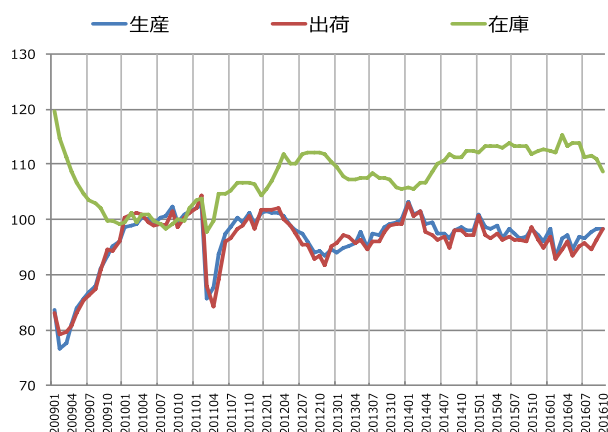
(2) 全国の生産動向

全国における10月の鉱工業指数(確報値:季節調整済, 2010年=100)を見ると、生産は98.4となり前月比横ばい。出荷は98.3で同+2.0%と2カ月連続の上昇。在庫は108.6で同-2.1%と2カ月連続の低下となった。

業種別にみると、電子部品・デバイス(前月比+4.6%)、金属製品(同+3.7%)、プラスチック製品(同+1.9%)等を中心に増産となった。一方、はん用・生産用・業務用機械(同-1.6%)、電気機械(同-2.9%)、輸送機械(同-0.6%)等は減産となった。

速報値公表時に発表された製造工業生産予測調査によれば、11月は前月比+4.5%の増産、12月は同-0.6%の減産となっている。

鉱工業指数の推移 (全国：2016年10月まで、2010年=100)



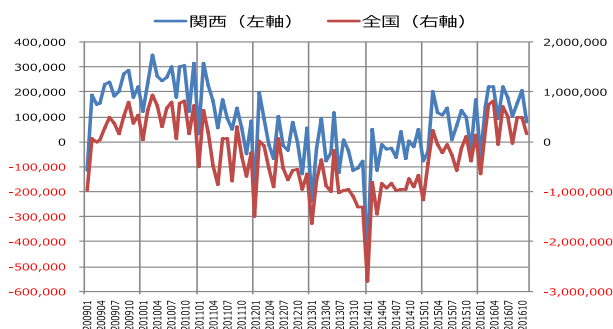
(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、11月関西の貿易収支は+776億円と10カ月連続の黒字となり、貿易収支は前年同月から1,069億円の改善。全国の貿易収支(確報値)は+1,508億円と3カ月連続の黒字となり、前年同月から5,383億円改善した。11月初旬の米大統領選以降、急速に円安に転じているものの、依然大幅な円高となっている。輸出はアジア向けが好調であるが、輸入は原油価格の下落が反転し、輸入額の減少が鈍くなっている。

関西・全国の貿易収支の推移：(百万円, 2016年11月まで)



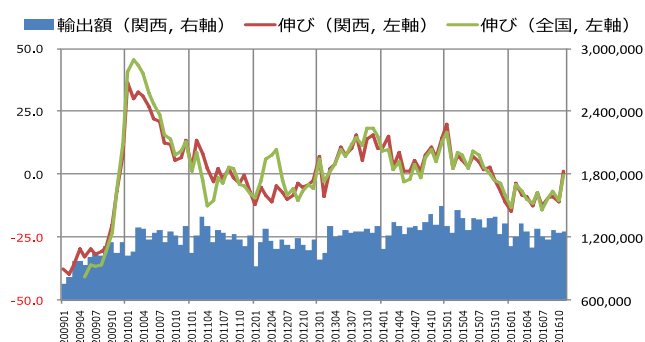
(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(2) 輸出

関西11月の輸出額(速報値)は1兆2,510億円。前年同月比+1.1%と14カ月ぶりの増加。財別に見れば、原動機、半導体等電子部品の輸出が増加した。なお、同月の為替レート(税関長公示レートベース)は104.94円で前年同月比+13.5%と10カ月連続の円高であるが、アジア向け輸出の増加により、関西の輸出は久方ぶりにプラスに転じた。

全国11月の輸出額(確報値)は5兆9,568億円、前年同月比-0.4%と14カ月連続の減少。財別に見れば、自動車、鉄鋼、鉱物性燃料の輸出が減少。

関西・全国の輸出の推移(百万円, 前年同月比, 2016年11月まで)



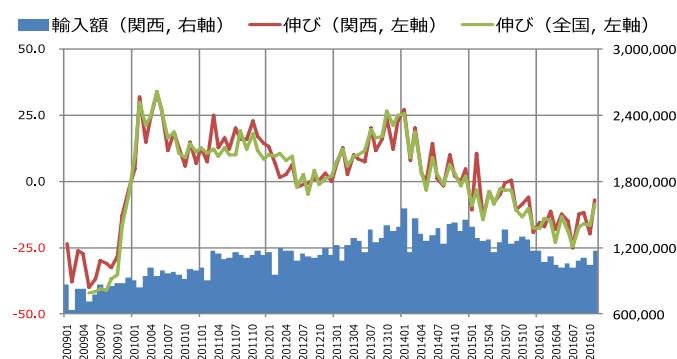
(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(3) 輸入

関西11月の輸入額(速報値)は1兆1,735億円、伸びは前年同月比-7.3%と15カ月連続の減少。財別に見れば、医薬品、衣類及び同付属品が減少した。

全国11月の輸入額(確報値)は5兆8,060億円、前年同月比-0.4%と14カ月連続の減少。

関西・全国の輸入の推移(百万円, 前年同月比, 2016年11月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

比-8.8%と23カ月連続の減少。財別に見れば、医薬品、原油、液化天然ガス等の輸入が減少している。資源価格は前年比引き続き下落傾向にあるが、下落幅は縮小している。

(4) 関西の地域別貿易

関西11月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は+1,909億円と10カ月連続の黒字となり、貿易収支は前年同月比+74.2%拡大した。6カ月連続のプラス。輸出は13カ月ぶりの増加(同+1.9%)。財別に見れば、半導体等電子部品、原動機等が増加した。一方、輸入は15カ月連続の減少(同-8.8%)。財別に見ると、衣類及び同付属品、半導体等電子部品等が減少した。

うち、対中貿易収支は-600億円と57カ月連続の赤字も、赤字幅は前年同月から縮小(同-50.4%)。輸出は9カ月ぶりの増加(同+5.3%)。輸入は8カ月連続の減少(同-10.5%)。

対米貿易収支は+591億円と黒字基調が続いているものの、黒字幅は5カ月連続で前年から縮小(同-0.0%の小幅のマイナス)。うち、輸出は13カ月連続のマイナス(同-4.1%)。財別に見れば、有機化合物、鉄鋼等が減少した。輸入も10カ月連続の減少(同-6.3%)。財別に見れば、半導体等製造装置等が減少となった。

対EU貿易収支は-142億円と3カ月連続の赤字。貿易収支は前年同月比-51.6%縮小した。輸出は14カ月ぶりの増加(同+0.7%)。財別に見れば、原動機、音響・映像機器部品等が増加。輸入は9カ月連続の減少(同-9.6%)。財別に見れば、医薬品、アルコール飲料等が減少した。

【消費者センチメント】

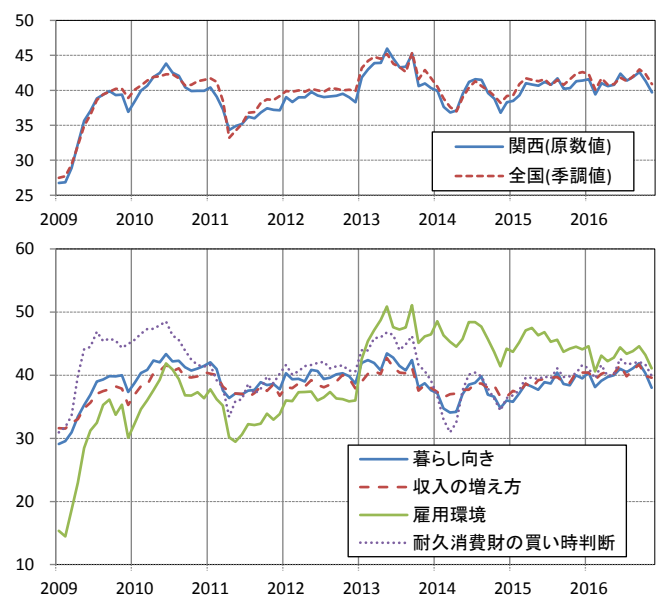
(1) 消費者態度指数の動向

関西の11月の消費者態度指数(原数値)は前月比-1.6ポイント低下し39.7となり、2カ月連続の悪化。全国(季節調整値)も同-1.4ポイント低下し40.9となり、こちらも2カ月連続で悪化した。

全国では4つの指数構成項目すべてが、2カ月連続で前月から悪化。「雇用環境」指標が前月比で-2.3ポイントと最も低下幅が大きく、次いで「耐久消費財の買い時判断」が同-1.4ポイント、「暮らし向き」指標が同-1.3ポイント、「収入の増え方」が同-0.6ポイントそれぞれ低下した。背景として、厳しい労働環境に関する報道の影響が続いていること、生鮮野菜の価格上昇による生活防衛意識が上昇したことなどが悪化に寄与したと見られる。これらを受け、内閣府は消費者心理の基調判断を「持ち直しのテンポが緩やかになっている」として9カ月ぶりに下方修正を行った。

関西の同指数構成項目は、全国と同様4指標全てが悪化した。内訳を見ると、「暮らし向き」が前月比-2.3ポイントで最も大きく、次いで「雇用環境」が同-2.1ポイント、「耐久消費財の買い時判断」が同-1.8ポイント、「収入の増え方」が同-0.3ポイント(いずれも2カ月連続)それぞれ低下した。

消費者態度指数(2016年11月まで)



(出所) 内閣府「消費動向調査」

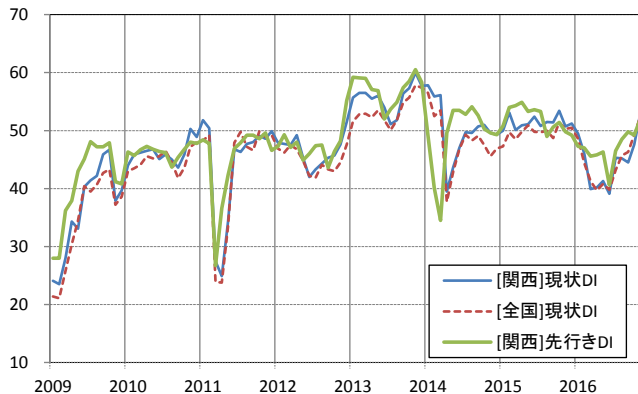
(2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の11月の現状判断DI(季節調整値)は53.1と前月比+5.5ポイント上昇し、2カ月連続の改善。景況感のよし悪しの分かれ目となる50を11カ月ぶりに上回った。全国も同+3.2ポイント上昇し52.5となり、5カ月連続の改善。

改善した理由は主に天候要因と見られる。依然として消費者の節約志向は強いものの、11月に入り、気温の低下から衣料や暖房器具等を中心に冬物商材の販売が好調だったことが景況感を押し上げた。また、米国大統領選挙後に円安・株高が進行したことも好影響をもたらした。関西では、全国と同様、冬物商材の売上増加に関するコメントが多く見られる一方で、これまで多く見られたインバウンドに関するコメントが減少していることが特徴である。

また、先行き判断DI(季節調整値)は、関西では52.1と前月比+2.9ポイント上昇し、2カ月ぶりの改善。今冬は低気温が続くと予想から、百貨店を中心に冬物商材の売上増への期待は高く、先行き見通しは改善している。全国は53.0と同+1.6ポイント上昇し、5カ月連続で改善した。

景気ウォッチャー調査(2016年11月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

【所得・個人消費・住宅】

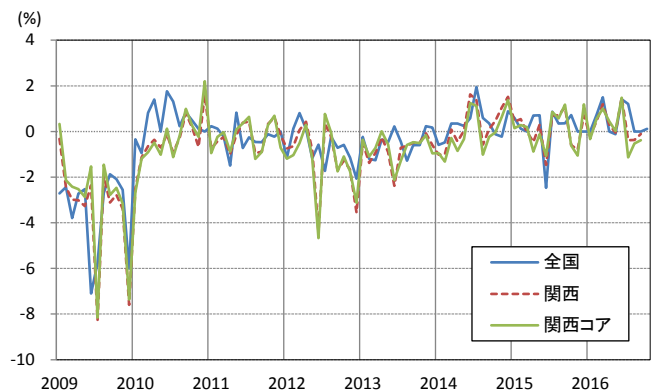
(1) 現金給与総額

8月の関西2府4県の現金給与総額(APIR推計)は26万5,287円で前年同月比-0.4%となり、2カ月連続の低下。府県別では、滋賀県が同+2.3%と7カ月連続の上昇。一方、和歌山県は同横ばい、奈良県は同-2.0%と2カ月ぶりの低下。大阪府が同-0.7%、京都府が同-0.5%、兵庫県が同-0.1%といずれも2カ月連続の低下となった。また、9月の京都・大阪・兵庫の加重平均をとった速報性のある「関西コア」賃金指数(APIR推計)は同-0.4%と3カ月連続で低

下した。賃金は減少が続いている。

全国(確報値)の現金給与総額をみると、10月は前年同月比で+0.1%と3カ月ぶりの小幅上昇であった。内訳をみると、所定内給与は同+0.2%と4カ月連続のプラス。所定外給与は同-1.2%と5カ月連続のマイナス。特別給与は同-3.1%と3カ月連続のマイナス。また、現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は横ばいであった。特別給与と所定外給与の減少が全体を押し下げているが、所定内給与が小幅ながら安定して伸びていることは好材料といえよう。

現金給与総額(前年同月比: %, 2016年10月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(2011年平均)で加重平均。

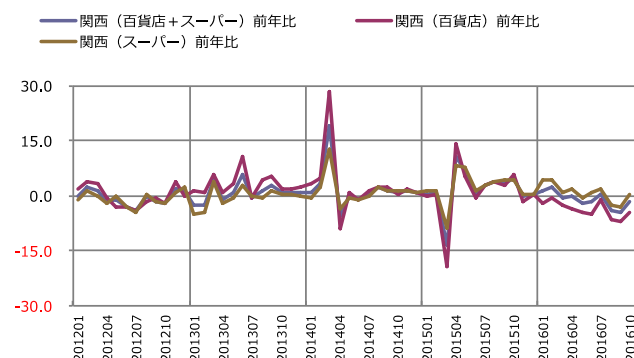
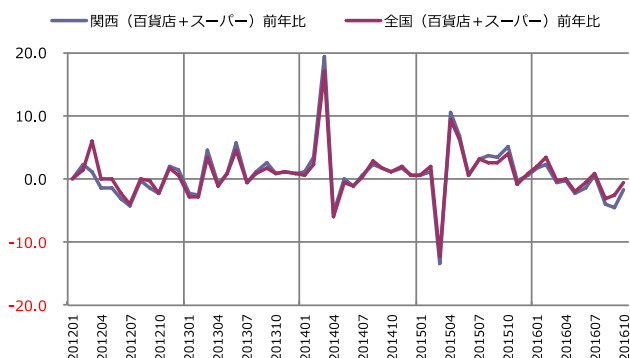
(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

(2) 大型小売店販売額

関西10月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比-1.7%と3カ月連続のマイナス。百貨店は同-4.7%減少し(前月同-7.0%)、10カ月連続のマイナス。スーパーは同+0.2%(前月同-3.1%)と3カ月ぶりのプラス。関西のスーパーでは飲食料品の消費は好調であったが、婦人服を中心に衣料品の販売が不振であったため、百貨店は引き続き減速が続いている。

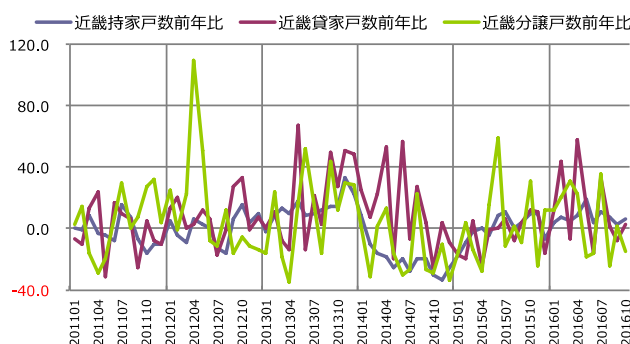
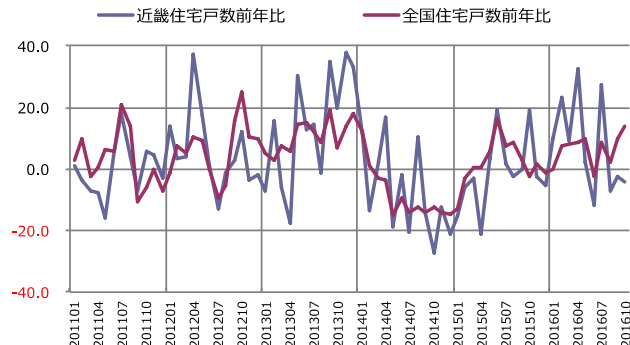
全国10月の大型小売店販売額(全店ベース)は前年同月比-0.7%と3カ月連続のマイナスとなっている。

大型小売店販売額(前年同月比: %、2016年10月まで)



(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動態統計」

新設住宅着工数(前年同月比: %、2016年10月まで)



(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

(3) 新設住宅着工の動向

関西10月の新設住宅着工戸数は12,346戸。前年同月比-4.1%となり、3カ月連続の減少。全国は87,707戸と同+13.7%増加し、4カ月連続のプラス。

関西の住宅着工戸数を利用関係別にみると、持家は3,344戸。前年同月比+6.2%と10カ月連続のプラス。貸家は5,066戸、同+2.5%と2カ月ぶりの増加。分譲は3,866戸、同-14.1%減少し、2カ月ぶりのマイナス。関西の新設住宅着工は、貸家、分譲を中心に、低迷が続いている。

11月の関西マンション契約率は73.7%(季節調整値、APIR推計)。好不調の目安となる70%を2カ月連続で上回った。首都圏は61.3%(季節調整値、APIR推計)と2カ月連続で70%を下回った。

【雇用動向】

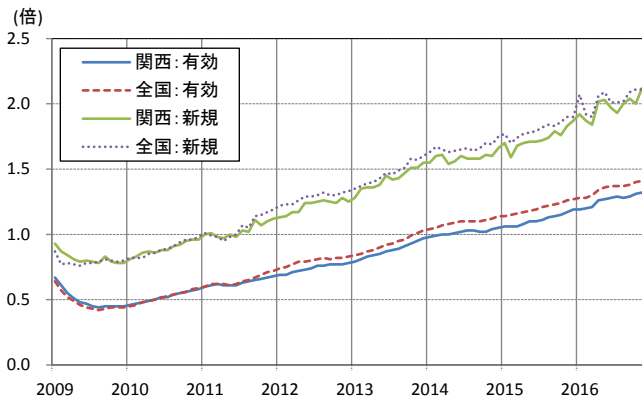
(1) 求人倍率の動向

11月の関西の有効求人倍率は、1.32倍で前月比+0.01ポイント小幅上昇し、3カ月連続の上昇。依然として高水準が続いている。また、11月の全国は1.41倍と同+0.01ポイントと3カ月連続の小幅上昇となった。1991年7月(1.44倍)以来の高水準となった。雇用情勢は好調が続いている。

有効求人倍率を府県別にみると、奈良県で前月比+0.06ポイント、京都府で+0.04ポイント、滋賀県で+0.02ポイント、大阪府・兵庫県で同+0.01ポイント上昇した。一方、和歌山県では同-0.05ポイント下落した。

11月の関西の新規求人倍率は、2.12倍で前月比+0.12ポイントと2カ月ぶりの上昇。4カ月連続で2倍超となった。新規求人数が同+5.7%増加し、全体を押し上げた。全国は2.11倍と同横ばいであった。

求人倍率の推移 (季節調整値、2016年11月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

関西2府4県有効求人倍率(2016年11月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
11月	1.41	1.32	1.22	1.36	1.44	1.18	1.24	1.14
10月	1.40	1.31	1.20	1.32	1.43	1.17	1.18	1.19

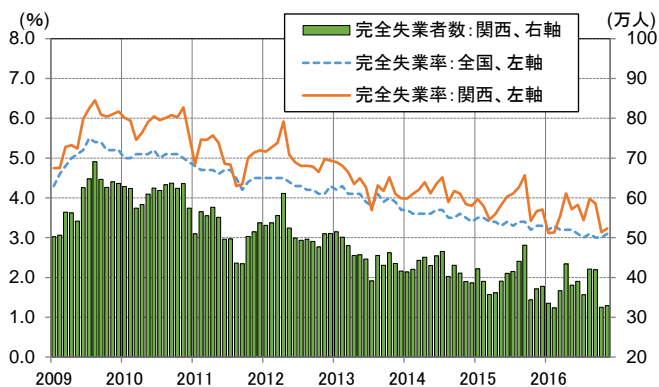
(2) 完全失業率の推移

11月の関西の完全失業率(季節調整値:APIR推計)は3.2%で前月比+0.1%ポイント小幅上昇し、3カ月ぶりの悪化。労働力人口が小幅減少したためである。しかしながら、雇用環境は堅調が続いている。

関西の完全失業者数(季節調整値:APIR推計)は32.9万人で前月から+0.4万人小幅増加。3カ月ぶりに悪化した。

全国の完全失業率(季節調整値)は3.1%となり、前月比+0.1%ポイント小幅上昇し、3カ月ぶりの悪化。

完全失業率の推移 (季節調整値:2016年11月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」

11月の全国の完全失業者数(季節調整値)は205万人で前月から+8万人増加。理由別にみると、非自発的な離職が

3万人減少、自発的な離職(自己都合)が3万人増加した。

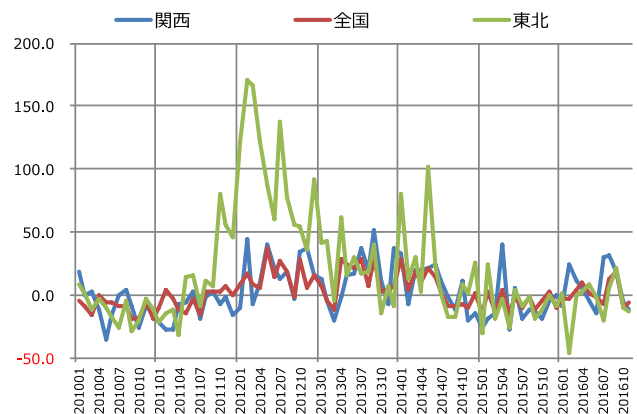
【公共投資】

(1) 公共工事請負金額

関西11月の公共工事請負金額は754億円で前年同月比-11.7%と2カ月連続の減少。全国は8,220億円で同-5.7%と2カ月連続の減少。東北は1,568億円で同-12.5%と2カ月連続のマイナス。

季節調整値(APIR推計)で見ると、関西は4カ月連続のマイナス、全国は3カ月ぶりのプラス(関西:同-8.4%、全国:同+9.6%)。全国の公共工事請負の拡大ペースは一時的に停滞しており、関西は減速が続いている。

公共工事請負金額(前年同月比:%、2016年11月まで)



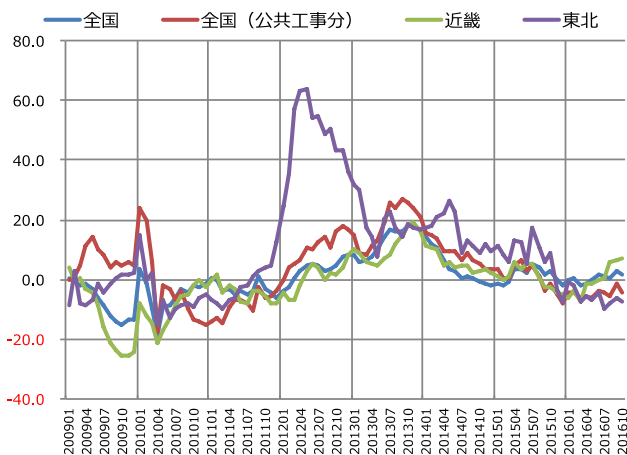
(出所) 東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

(2) 建設工事

関西10月の建設工事は5,801億円で、前年同月比+7.3%と4カ月連続の増加。東北は6,015億円、同-7.4%と12カ月連続の減少。全国は4兆7,198億円となり、同+1.7%と6カ月連続の増加。全国の建設工事では持ち直しが続く一方、東北は停滞が続いている。

うち、全国の公共工事は1兆9,806億円で同-4.2%と14カ月連続のマイナス。公共工事は依然マイナスが続いている。

建設工事(前年同月比: %、2016年10月まで)



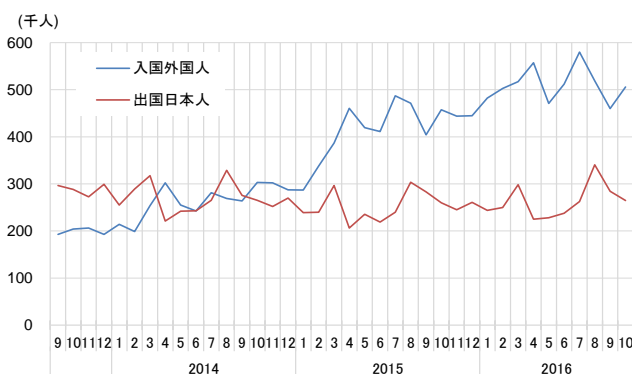
(出所) 国土交通省「建設総合統計」

【関空モニター】

(1) 訪日外客数トレンド

11月の関空への訪日外客数は48万4,440人となり、前年同月比+9.1%と46カ月連続のプラスとなり、依然として高水準を維持しているものの、これまで2桁の伸びが続いていたことを考えれば減速傾向である。また、外国人旅客総数(出入国含む)は96万6,870人と同+9.0%と増加。出国日本人数は27万800人で、伸びは同+10.5%と6カ月連続で増加している。

訪日外客数と出国日本人数(人、2016年11月まで)



(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

(2) 地域別訪日外客数

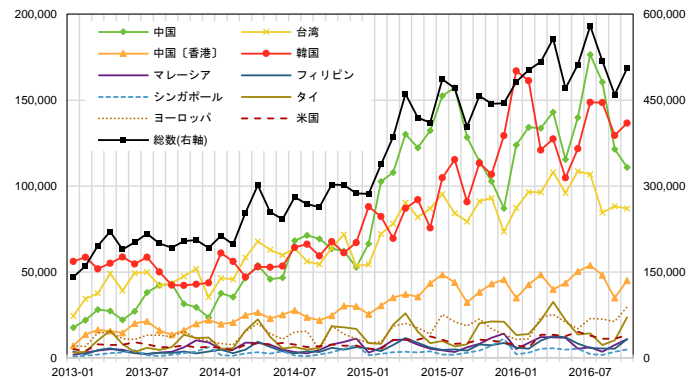
訪日外客数を地域別にみると、10月は韓国からの入国者数が13万6,669人と最も多く、前年同月比+20.5%と28

カ月連続のプラスとなった。次いで、中国(香港除く)が11万966人(同-2.9%)と2カ月連続のマイナス。台湾が8万6,979人(同-4.7%)と、2013年の国別・港別の出入国数の発表開始以来、初めて同マイナスとなった。中国(香港)が4万5,141人(同+17.8%)であった。

他のアジア各国からの入国者数は、タイが2万3,830人(前年同月比+18.0%)、フィリピンが1万1,007人(同+37.8%)、マレーシアが1万987人(同+32.5%)、シンガポールが5,044人(同+15.6%)となった。

他地域を見ると、ヨーロッパが2万9,822人(前年同月比+30.6%)、米国が1万3,404人(同+24.0%)であった。

地域別訪日外客数(2016年10月: 人、右軸: 総数、左軸: 各国)



(出所) 法務省「出入国管理統計」

【中国景気モニター】

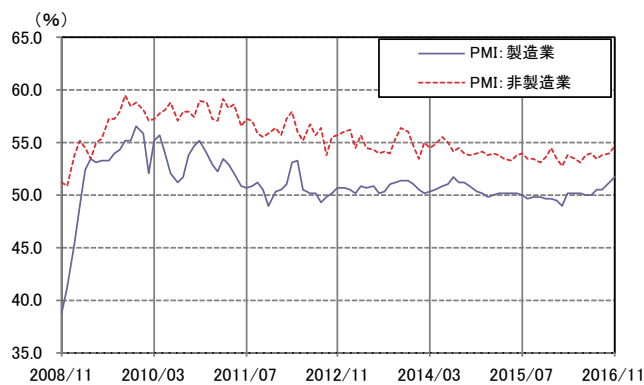
(1) センチメント

11月の製造業購買担当者景況指数(PMI)と非製造業購買担当者景況指数はどちらも前月から上昇した。製造業 PMI は51.7となり、伸びは前月から+0.5ポイント上昇し、2カ月連続のプラス。また、非製造業購買担当者景況指数は54.7となり、伸びは同+0.7ポイント上昇し、3カ月連続のプラスとなった。

製造業 PMI のうち、生産指数は53.9となり、前月比+0.6ポイント上昇し、4カ月連続のプラス。輸出新規受注指数は50.3となり、同+1.1ポイント上昇し、2か月ぶりのプラス。

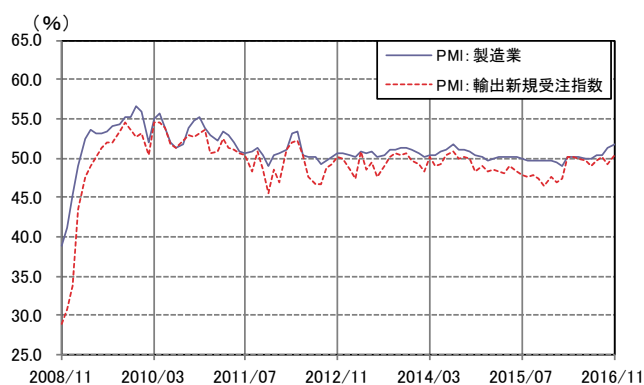
雇用指数は49.2となり、同+0.4ポイント上昇し、5カ月連続のプラスとなった。

中国非製造業購買担当者景況指数(2016年11月まで)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

中国製造業購買担当者景況指数(2016年11月まで)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

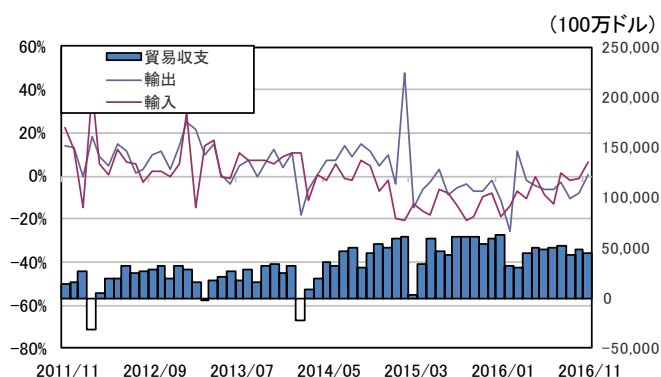
(2) 貿易動向

11月の貿易収支は+446.1億ドルで、33カ月連続の黒字となったが、黒字幅は前年同月より91.4億ドル縮小した。4カ月連続の縮小。うち、輸出額(速報値、ドルベース)は1,968億ドルとなり、同+0.2%増加し、8カ月ぶりのプラス。輸入額は1,522億ドルで同+6.6%増加し、3カ月ぶりのプラス。

また、対日貿易収支は-14.5億ドルとなり、10カ月連続の赤字となった。うち、対日輸出額は122億ドルとなり、前年同月比+3.3%となり、3カ月ぶりのプラス。一方、対日輸入額は136.6億ドルとなり、同+17.2%と4カ月連続で増加した。なお、円ベースでみると、対日輸出額は同-8.8%と、

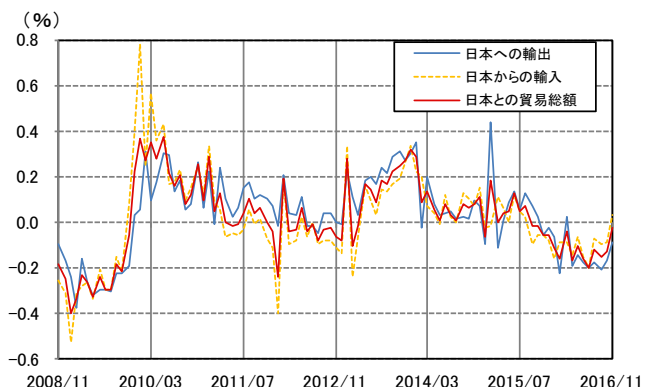
8カ月連続のマイナスだが、減少幅は縮小している。また、対日輸入額は同+3.4%となり、15カ月ぶりのプラスとなった。

中国の貿易動向 (前年同月比:ドルベース) (2016年11月まで)



(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

日本との貿易 (前年同月比:円ベース) (2016年11月まで)



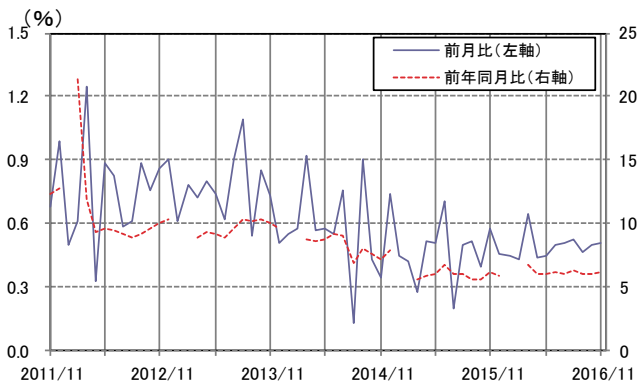
(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

(3) 工業生産

11月の工業生産は前月比+0.51%となり、前月から+0.01%ポイント上昇し、伸びは2カ月連続で加速した。また、前年同月比では+6.2%となり、前月より+0.1%ポイント上昇した。

産業別に見ると、自動車製造業(前年同月比+19.5%)、医薬製造業(同+12.2%)、専用設備製造業(同+10.7%)などが高い伸びを示す一方で、有色金属圧延加工業(同+0.8%)、鉄道・輸送機器製造業(同+1.1%)などは比較的低調な伸びにとどまった。また、鉄鋼などの精練・圧延加工業(同-7.3%)は4カ月連続のマイナスとなっており、減産が続いている。

工業生産指数(2016年11月まで)



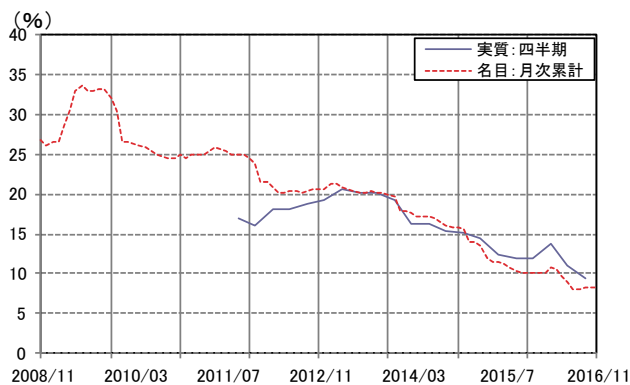
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(4) 固定資産投資

1-11 月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同月比+8.3%となり、伸びは1-10月期から横ばいであった。1-8月期(同+8.1%)を底とし、幾分上方トレンドを示している。

産業別に見ると、第1次産業は前年同月比+21.9%となったが、伸びは前月から-0.1%ポイント低下し、4カ月ぶりのマイナス。一方、第2次産業は同+3.3%となり、前月から+0.4%ポイント上昇し、2カ月ぶりのプラス。また、第3次産業は同+11.3%となり、伸びは前月から-0.2%ポイント低下し、2カ月ぶりのマイナスとなった。

固定資産投資 (2016年11月まで) (累積伸び率)

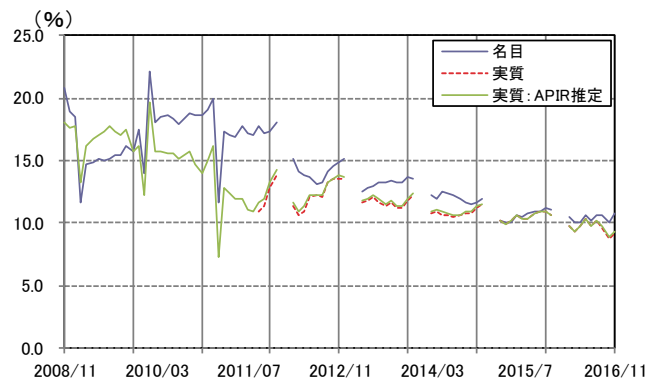


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(5) 消費

11月の社会消費品小売総額(名目)は前年同月比+10.8%となり、伸びは前月より+0.8%ポイント上昇し、2カ月ぶりに加速した。

社会消費品小売総額成長率の推移 (2016年11月まで)



(注) APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

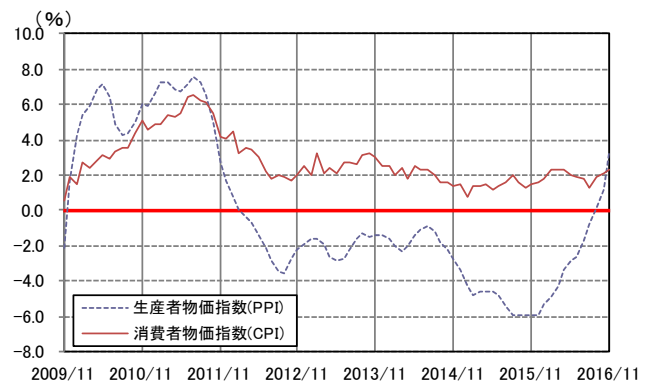
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(6) 物価水準

11月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+2.3%上昇した。伸びは前月から+0.2%ポイント上昇し、3カ月連続で加速している。また、生産者物価指数(PPI)は同+3.3%となり、伸びは前月より+2.1%ポイント上昇し、3カ月連続のプラス。

消費者物価指数と生産者物価指数の推移

(2016年11月まで: %)

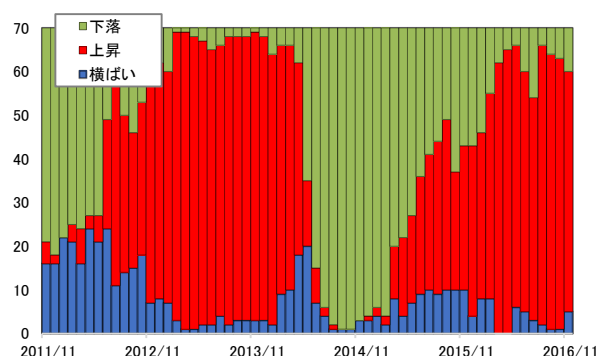


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(7) 不動産市場

11月の不動産価格(新築住宅価格)を見ると、中国主要70都市のうち、価格が上昇した都市数は55都市で前月から7都市減少。一方、価格が下落した都市数は10都市で前月から3都市増加した。価格が横ばいの都市数は5都市で、前月から4都市増加した。不動産市場は9月からの価格調整政策の影響により、低調が続いている。

新築住宅価格の主要都市集計 (2016年11月まで:都市数)

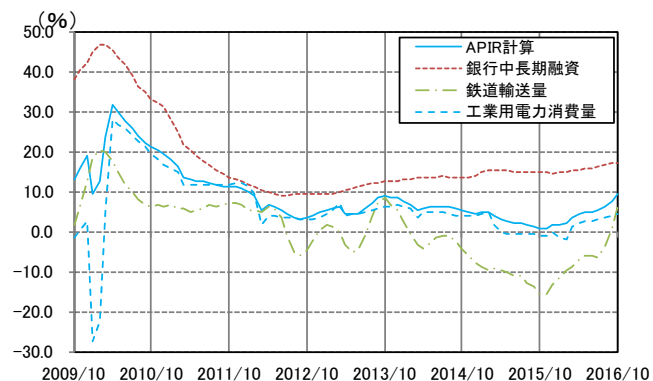


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(8) リコノミクス指数

10月のリコノミクス指数(APIR 試算)は前年同月比+9.4%と前月から+1.6%ポイント上昇し、9カ月連続のプラスとなった。内訳をみると、銀行中長期融資は同+17.3%となり、伸びは前月から+0.3%ポイント上昇し、10カ月連続で緩やかに加速している。工業用電力消費量は同+4.3%増加し、伸びは前月から+0.3%ポイント上昇し、8カ月連続の加速。また、鉄道輸送量は同+6.4%となり、伸びは前月から+5.7%ポイント上昇し、3カ月連続で加速した。

APIR 試算のリコノミクス指数とその内訳(2016年10月まで:%)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

Contact : 林万平・木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh
Nguyet

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	15/11M	15/12M	16/1M	16/2M	16/3M	16/4M	16/5M	16/6M	16/7M	16/8M	16/9M	16/10M	16/11M
景況感													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	46.8	49.2	47.1	45.9	44.0	44.1	43.1	40.1	46.9	45.4	43.9	44.5	53.1
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	44.2	45.7	46.8	44.4	42.4	40.7	41.9	38.1	45.4	43.2	41.1	42.3	48.3
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	48.7	48.5	47.9	48.0	46.5	46.7	46.6	41.1	46.1	47.1	44.8	49.2	52.1
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	46.1	48.7	46.6	44.6	45.4	43.5	43.0	41.2	45.1	45.6	42.6	46.2	52.5
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	44.4	47.7	45.6	43.2	44.3	42.2	41.9	40.2	44.5	44.1	49.3	44.1	47.1
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	48.2	48.2	49.5	48.2	46.7	45.5	47.3	41.5	47.1	47.4	48.5	49.0	53.0
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	41.3	41.4	41.6	39.4	41.0	40.6	40.8	42.4	41.4	41.9	42.6	41.3	39.7
[関西]「暮らし向き(原数値)	40.0	39.5	40.4	38.1	39.1	39.7	40.0	41.0	40.5	41.1	41.9	40.3	38.0
[関西]「収入の増え方(原数値)	40.4	40.4	40.4	39.3	40.2	40.6	40.2	41.6	39.8	40.8	41.7	39.9	39.6
[関西]「雇用環境(原数値)	44.5	44.1	44.6	40.6	43.1	42.2	42.8	44.4	43.4	43.8	44.6	43.2	41.1
[関西]「耐久消費財の買い時判断(原数値)	40.3	41.6	41.1	39.5	41.6	39.9	40.1	42.6	41.7	41.9	42.1	41.7	39.9
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	42.6	42.7	42.5	40.1	41.7	40.8	40.9	41.8	41.3	42.0	43.0	42.3	40.9
[関西]大型小売店販売額(10億円)	326.9	412.5	332.9	290.0	318.1	303.1	310.6	303.9	339.6	302.8	284.2	311.0	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	-0.3	0.6	1.6	2.3	-0.6	-0.3	-2.3	-1.5	0.5	-4.0	-4.6	-1.7	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,650.1	2,092.5	1,691.3	1,488.6	1,646.0	1,545.8	1,597.9	1,567.5	1,721.0	1,554.0	1,470.5	1,596.6	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	-0.8	0.9	2.1	3.2	-0.2	-0.1	-1.9	-0.7	0.9	-3.2	-2.7	-0.7	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	11,877	11,024	10,581	11,081	11,846	13,050	10,682	12,681	13,028	11,580	11,435	12,346	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比)	-2.6	-5.2	10.2	23.1	9.4	32.9	2.6	-11.5	27.6	-7.3	-2.2	-4.1	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	79,697	75,452	67,815	72,831	75,744	82,398	78,728	85,953	85,208	82,242	85,622	87,707	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比)	1.7	-1.3	0.2	7.8	8.4	9.0	9.8	-2.5	8.9	2.5	10.0	13.7	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	68.7	62.6	73.4	76.8	76.6	69.3	61.8	70.4	70.8	73.8	69.1	70.9	73.7
[関西]マンション契約率(原数値)	70.2	59.6	67.1	72.0	78.6	70.0	64.5	73.3	74.6	73.8	68.1	71.8	75.4
[全国]マンション契約率(季節調整値)	80.6	67.3	60.9	72.9	64.3	66.0	71.1	67.3	60.2	68.9	73.2	64.0	61.3
[全国]マンション契約率(原数値)	82.1	64.8	68.9	72.9	67.6	66.4	70.9	69.6	63.3	66.6	72.0	61.6	62.5
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	85.4	97.3	64.4	80.0	125.9	279.6	122.7	172.9	175.1	136.4	151.7	116.3	75.4
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比)	-3.9	0.1	-8.8	24.3	12.0	6.2	-3.8	-13.7	30.1	32.2	18.0	-5.5	-11.7
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	872.0	808.6	653.5	696.8	1,339.5	2,030.1	1,145.3	1,527.8	1,361.8	1,247.3	1,471.6	1,127.3	822.0
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比)	3.3	-9.6	-2.6	-2.2	5.0	10.6	1.4	-1.8	-6.9	12.7	18.1	-10.0	-5.7
[関西]建設工事(総合、10億円)	561.0	578.1	564.6	562.6	531.5	461.9	461.4	485.4	485.4	535.8	555.7	580.1	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比)	-4.6	-5.2	-6.0	-3.7	-7.4	-1.3	-1.3	-0.3	-0.3	5.6	6.7	7.3	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	4,712.0	4,732.5	4,611.1	4,520.7	4,423.7	3,589.2	3,553.4	3,786.3	3,786.3	4,209.0	4,529.1	4,719.8	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比)	-0.1	-2.1	0.0	0.2	-2.1	-1.2	0.1	1.6	1.6	0.3	2.9	1.7	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	2,132.5	2,160.4	2,093.9	2,032.8	2,003.3	1,362.5	1,296.9	1,402.7	1,402.7	1,620.1	1,837.8	1,980.6	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比)	-5.1	-7.8	-4.3	-4.4	-6.4	-5.8	-6.3	-3.6	-3.6	-5.7	-1.5	-4.2	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	102.5	99.2	104.1	98.9	105.0	104.1	103.3	101.8	100.9	102.0	107.2	104.5	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-1.5	-3.0	4.9	-5.0	7.5	-0.9	-0.8	-1.5	-0.9	1.1	5.3	-2.5	UN
[関西]「出荷指数(原数値、前年同月比)	0.0	-3.6	-7.8	-2.1	-0.3	-1.3	3.2	-1.1	-3.3	2.9	3.7	0.7	UN
[関西]「在庫指数(原数値、前年同月比)	0.0	1.1	1.4	1.1	1.8	2.6	3.9	3.5	1.4	2.1	3.2	-0.8	UN
[関西]「出荷指数(季節調整値、10年=100)	99.4	98.2	100.7	95.8	101.5	101.8	101.2	99.7	100.7	99.9	104.0	103.5	UN
[関西]「出荷指数(季節調整値、前月比)	-2.6	-0.6	2.5	-4.9	5.9	0.3	-0.6	-1.5	1.0	-0.8	4.3	-0.5	UN
[関西]「在庫指数(季節調整値、10年=100)	118.6	117.9	117.9	118.6	119.2	120.2	121.7	121.7	119.7	120.8	121.8	116.8	UN
[関西]「在庫指数(季節調整値、前月比)	0.4	-0.3	0.0	0.6	0.5	0.8	1.2	-0.2	-1.6	0.9	1.0	-4.1	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	97.9	95.9	98.3	93.2	96.7	97.2	94.7	96.9	96.5	97.8	98.4	98.4	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-0.9	-1.2	2.5	-5.2	3.8	0.5	-2.6	2.3	-0.4	1.3	0.6	0.0	UN
[全国]「出荷指数(原数値、前年同月比)	0.0	-2.5	-5.4	-1.6	-0.7	-3.4	-1.0	-1.7	-4.0	1.6	0.7	-2.0	UN
[全国]「在庫指数(原数値、前年同月比)	0.0	0.0	0.2	-0.9	1.8	0.1	0.8	0.0	-1.8	-1.6	-2.0	-3.0	UN
[全国]「出荷指数(季節調整値、10年=100)	96.4	94.9	96.8	92.8	94.5	96.0	93.5	95.1	95.8	94.7	96.4	98.3	UN
[全国]「出荷指数(季節調整値、前月比)	-2.4	-1.4	2.0	-4.1	1.8	1.6	-2.6	1.7	0.7	-1.1	1.8	2.0	UN
[全国]「在庫指数(季節調整値、10年=100)	111.9	112.7	112.4	112.2	115.4	113.4	113.9	113.9	111.2	111.5	110.9	108.6	UN
[全国]「在庫指数(季節調整値、前月比)	0.4	0.4	-0.3	-0.2	2.9	-1.7	0.4	0.0	-2.4	0.3	-0.5	-2.1	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比)	-0.8	0.7	-0.2	0.5	1.2	0.3	-0.1	1.5	-0.4	-0.4	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比)	-1.1	1.2	-0.3	0.6	1.0	0.4	0.0	1.5	-1.1	-0.5	-0.4	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比)	0.0	0.0	0.0	0.7	1.5	0.0	-0.1	1.4	1.2	0.0	0.0	0.1	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	3.7	3.7	3.1	3.1	3.6	4.1	3.7	3.8	3.4	4.0	3.9	3.1	3.2
[関西]完全失業率(原数値)	3.4	3.3	3.3	3.3	3.7	4.0	3.6	3.7	3.6	4.1	3.8	3.3	3.0
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2	3.2	3.1	3.0	3.1	3.0	3.0	3.0	3.1
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.83	1.87	1.92	1.87	1.84	2.02	2.03	1.97	1.93	2.00	2.04	2.00	2.12
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.90	1.90	2.07	1.92	1.90	2.06	2.09	2.01	2.01	2.02	2.09	2.11	2.11
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.17	1.19	1.19	1.20	1.21	1.26	1.27	1.28	1.29	1.28	1.29	1.31	1.32
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.26	1.27	1.28	1.28	1.30	1.34	1.36	1.37	1.37	1.37	1.38	1.40	1.41
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	-29.3	167.5	-58.4	139.1	222.4	223.1	93.1	223.6	179.9	100.5	156.6	205.5	77.6
[関西]輸出(10億円)	1,237.0	1,338.7	1,110.0	1,199.9	1,337.1	1,261.0	1,102.9	1,281.8	1,199.4	1,177.4	1,263.3	1,245.6	1,251.0
[関西]輸出(前年同月比)	-6.5	-10.8	-14.9	-3.4	-8.4	-8.6	-12.8	-7.3	-12.7	-9.4	-8.9	-10.9	1.1
[関西]輸入(10億円)	1,266.3	1,171.1	1,168.4	1,060.8	1,114.7	1,037.9	1,009.9	1,058.2	1,019.5	1,076.9	1,106.7	1,040.1	1,173.5
[関西]輸入(前年同月比)	-5.8	-19.3	-15.4	-17.1	-11.4	-18.1	-12.7	-15.3	-25.4	-12.7	-12.1	-19.9	-7.3

注：鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く。

Release Calendar for November/December

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
28-Nov	29-Nov	30-Nov	1-Dec 中国製造業 PMI (11月)	2-Dec
5-Dec 消費動向調査(11月)	6-Dec 毎月勤労統計 (10月:速報値)	7-Dec	8-Dec 景気ウォッチャー調査 (11月) 中国輸出入 (11月:速報値)	9-Dec 近畿貿易統計 (9月確報) 近畿貿易統計 (10月速報) 近畿鉱工業生産指数 (10月速報) 中国 PPI&CPI (11月)
12-Dec 商業動態調査 (10月:確報値) 中国固定資産投資 (11月) 中国工業生産(11月) 中国消費小売総額 (11月)	13-Dec	14-Dec 全国鉱工業生産指数 (10月:確報値) マンション契約率 (11月) 公共工事前払保証額 統計(11月)	15-Dec	16-Dec 建設総合統計(10月)
19-Dec 全国貿易統計 (11月:速報) 中国不動産市場 (11月)	20-Dec 近畿貿易統計 (11月速報)	21-Dec 中国輸出入 (11月:確定値)	22-Dec 毎月勤労統計 (10月:確報値) 近畿鉱工業生産指数 (9月確報)	23-Dec
26-Dec 全国貿易統計 (11月:速報)	27-Dec 求人倍率(11月) 完全失業率(11月) 新設住宅着工(11月)	28-Dec 全国鉱工業生産指数 (11月:速報値) 商業動態調査 (11月:速報値)	29-Dec	30-Dec